

健康長寿社会実現に向けた 未病予測・管理システムの構築

KEYWORDS 未病、唾液、微小循環機能



CATEGORY

健康社会

個人研究

研究者紹介



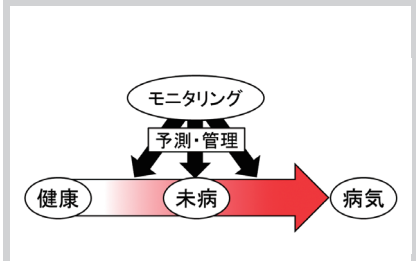
医療保健学部 看護学科
准教授 東雅啓

主な学会発表
論文・著書・社会活動

- [1] To M, Tsukinoki K, et al. J Clin Med, 10(8), 1698, 2021.
- [2] Ogasawara K, To M, et al. Microscopy, 70(4), 382-38, 2021.
- [3] Itamiya T, To M, et al. Appl Sci, 11(16), 7323-7323, 2021
- [4] Takarabe Y, To M, et al. Dent Mater J, 41(3), 459-465, 2022.
- [5] Liu YH, To M, et al. J Oral Biosci, 64(1), 141-147, 2022.
- [6] Matsumura M, To M, et al. J Oral Biosci, 65(3), 218-225, 2023.
- [7] Park J, Yamamoto Y, To M, et al. Medicina, 59(4), 789, 2023.

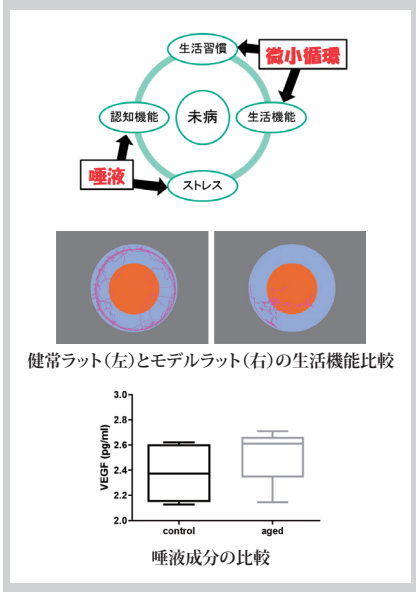
<https://researchmap.jp/m.to>

01 研究テーマの特徴、アピールポイント



超高齢社会を迎えた日本では、【平均寿命＝健康寿命】を目標として、高齢者のQOLを維持・向上することで介護の必要のない自立した高齢者を増やし、健康長寿社会の実現を目指す必要があります。近年、病気と健康の「二分論」の概念では捉えない「未病」が注目されており、健康と病気を連続的に捉え、その変化の過程を表す概念として、国が掲げた「健康・医療戦略(第二期:令和2年度)」においても盛り込まれているが、医療従事者の介入による客観的予測・管理システムは未だ確立されていません。

本研究では、神奈川県が未病改善のための「未病指標」として導入している生活習慣・生活機能・認知機能・ストレスの4項目に注目し、唾液と微小循環機能から総合的評価ができないか、動物実験とヒトを対象とした研究から検討を行っています。



想定される活用例、相談可能な分野

- 血液に代わる唾液検査の開発
- 微小循環機能と全身疾患との関係
- 唾液・微小循環機能を応用した新規評価法の確立
- 全身疾患における唾液マーカーの探索
- 微小循環機能解析による全身疾患・口腔疾患のスクリーニング検査
- 未病予防のための微小循環検査法の開発